

一般会計総額

66億5,947万円 の使い途

世界的な不況の影響から円高、株安が進み、製造業など輸出関連産業に依存してきた日本経済は大きな打撃を受けました。当町でも影響は大きく、予算的にも税の減収が予想されるほか、各交付金や地方交付税など一般財源は軒並み減少する見込みです。

しかしながら、御代田町は過去において「長期振興計画」「自律・協働のまちづくり推進計画」を基本とし、限られた財源の中、必要性、事業効果、緊急性などを十分に検討したうえで事業を実施し、健全財政を堅持してまいりました。その結果、今年度から「中学校建設事業」「まちづくり交付金事業」などの大型事業を計画どおり実施することができ、一般会計の予算額は、歳入歳出それぞれ66億5,947万円、昨年比べて18億454万円、37.2%の大幅な増加となっています。

【歳入】

歳入は昨年に比べて町税で法人町民税の減収などを見込み9,720万円の減(マイナス4.3%)、地方譲与税で770万円の減(マイナス9.3%)、地方消費税交付金で630万円の減(マイナス4.4%)、地方特例交付金では自動車取得税交付金減収補填分を計上し580万円の増(プラス22.6%)となっています。

地方交付税では昨年度からの地方再生対策費と平成21年度創設の地域雇用創出推進費を見込んで、2,850万円の減(マイナス2.6%)となりました。

国庫支出金は大型事業の財源となる、まちづくり交付金、公立学校施設整備費補助金、安全・安心な学校づくり交付金などを計上し、4億6,529万円の大幅な増(プラス300.2%)となっています。繰入金では昨年度計上の上、6億8,271万円の大幅増(プラス26,359.5%)となっています。これは公債費の財源として積立している減債基金から、後年度の負担を軽減するための繰上

償還財源として4億9,000万円、ほか中学校建替基金、下水道基金、ふるさと納税制度により平成20年中にご寄付いただきました「ふるさとみよた寄附金」を各事業への財源として充当するため、ふるさと創生基金から繰入れるものとなっています。

町債では地方交付税を補う臨時財政対策債、学校教育施設等整備事業債、まちづくり交付金事業債、地域活性化事業債など後年度に交付税に算入される有利な起債を計上し、7億6,240万円の増(プラス195.7%)となっています。

大型事業に伴う新規財源を適確に捕捉し、予算計上をいたしました。

【歳出】

総務費では、税の還付金や選挙経費が増加しましたが、ふるさと融資貸付金が減額となり、前年度に比べ1億1,273万円の減(マイナス14.3%)です。

民生費では、医療費や児童手当などの扶助費や、福祉タクシー利用助成事業や子育て応援金などを新規計上いたしました。ほか国民健康保健や

介護保険、後期高齢者医療など各特別会計への繰出金の増減により、2,211万円の減(マイナス2.0%)となりました。

農林水産業費では、昨年度からの継続事業である雪窓湖の整備や、まちづくり交付金による水路改修事業などにより2,427万円の増(プラス12.0%)となりました。

土木費では、5年計画のまちづくり交付金事業の初年度として、道路改良等関係経費や下水道事業特別会計への繰出金の増加などにより、4億9,619万円の大幅な増(プラス121.0%)となっています。

教育費につきましては、まちづくり交付金、公立学校施設整備費補助金、安全・安心な学校づくり交付金を受けて実施する中学校建設事業経費、南北小学校校舎棟耐震補強工事などの計上により9億66万円の大幅増(プラス143.5%)です。

公債費は、後年度の負担を軽減するため繰上償還を実施する予定で4億5,097万円の増(プラス51.3%)となっています。

用語をチェック

●歳入編

町税…皆さんが町へ納めた税金です。

地方譲与税…国税である自動車重量税などが、一定の割合で町に交付されるお金です。

地方消費税交付金…消費税が、人口や従事者数に応じて交付されるお金です。

地方交付税…町の財政力に応じ、国から交付されるお金です。

国県支出金…特定の事業の経費にあてるよう、国・県から交付されるお金です。

分担金および負担金…特定の事業の経費にあてるため、その事業により特別な利益を受ける人や原因者が納めるお金です。

繰入金…一般会計、特別会計、基金間でやりとりされるお金です。

町債…大きな事業をするときに、町が借りるお金です。いわゆる借金です。

その他…使用料、手数料、財産収入、寄付金、諸収入の合計です。

●歳出編

議会費…議会や委員会の運営に使うお金です。

総務費…一般事務経費や財産管理などに使う費用です。選挙や広報に使うお金も含まれます。

民生費…福祉の増進に使う費用です。老人・障害者・児童福祉など欠かせないお金です。

衛生費…ゴミ処理や健康診断、予防接種に使うお金です。

農林水産業費…農業・林業の振興に使うお金です。

商工費…商業・工業の振興に使うお金です。

土木費…道路や公園をつくるお金です。町営住宅の管理なども含まれます。

消防費…消防・防災にかかるお金です。

教育費…学校教育、生涯学習に使うお金です。

公債費…町の借金を返すお金です。

その他…労働費、災害復旧費、諸支出金の合計です。

歳入

繰入金(10.3%)
6億8,530万円

繰越金(1.5%)
1億円

分担金及び負担金(0.3%)
1,802万円

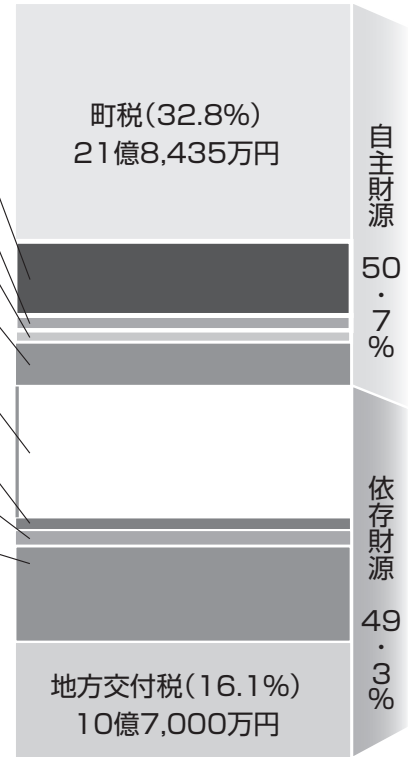
その他(5.8%)
3億9,061万円

町債(17.3%)
11億5,200万円

地方譲与税(1.1%)
7,490万円

地方消費税交付金(2.1%)
1億3,800万円

国・県支出金(12.7%)
8億4,629万円



ワンポイント
町の予算は、入ってくるお金と使うお金は同額で組まれています。歳入のうち、依存財源は、国や県に頼っているお金。自主財源は、御代田町だけで用意できるお金。約49%を国や県に頼っています。

歳出

